

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Landcube座間新築工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県座間市小松原一丁目5192	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2023年6月 竣工	評価の実施日	2022年3月17日
敷地面積	8,527 m ²	作成者	株式会社エネ・グリーン 定森 淳一
建築面積	4,422 m ²	確認日	2022年3月18日
延床面積	17,379 m ²	確認者	株式会社フジタ 河村 賢一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 72%
③上記+②以外の 72%
④上記+ 72%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項	
総合 ・サービス性能への配慮 ・敷地内外環境への配慮 ・エネルギー、資源マテリアルの確保に努めている	その他 ・特に無し
Q1 室内環境 ・対象外	Q2 サービス性能 ・換気ダクトは外部露出、多湿箇所ガルバリウム鋼板・上給排水配管は位3種がB以上、Eは不使用・階高3.90m以上・2階壁長さ比率0.09・積載荷重4500N/m ² 以上・ケーブルラック配線を採用
LR1 エネルギー ・省エネルギー性能への配慮。	LR2 資源・マテリアル ・自動水栓に加え、節水型便器の採用・OAフロア、LGS下地を採用・有害物質を含まない防水工事のプライマーを採用・ODP=0かつ、GWP=10以下の発泡剤を用いた断熱材を採用
	Q3 室外環境 (敷地内) ・緑地設置。
	LR3 敷地外環境 ・LCCO ₂ 排出率72%・燃焼設備設置無し。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される